

会比较家族史 17

事務局 〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学社会科学研究所 利谷研究室

第二〇回研究大会プログラム

日時 一九九一年一月二二日(木)・二三日(金)
場所 武庫川女子大学第三学舎(甲子園会館)東ホール
〒六六三 兵庫県西宮市戸崎町一―三
(☎〇七九八―六七―〇〇七九)

第一日(二二日)午前一〇時開会

◇会長挨拶

大竹 秀男

◇自由報告

・幼児期における絵本の読み聞かせと
テレビ・ビデオ視聴―親の発達期待
及び教育観とコントロールの実態―
10:10~10:50 司会 安藤 明人
・特別養子法の現状と課題
10:50~11:30 司会 床谷 文雄
・移住と伝統性・親族編成と知識
―北海道南部漁村の予備的事例報告―
11:30~12:10 司会 堀江 俊一
◇昼食 12:10~13:10 司会 堀江 俊一

◇テーマ報告

・趣旨説明 13:10~13:25 地主 喬
・子育ての民族―兵庫県を中心にした―古山 桂子
13:25~14:05 司会 田中 久夫
・戦前日本の家庭と子どもの社会化
―“男の子”と“女の子”について―
14:05~14:45 司会 大藤 修
・平安貴族社会の中の子ども
14:45~15:25 司会 高橋 秀樹
大藤 修

◇休憩 14:25~15:40

・近世日本における直系小家族の子育て―日記・祝儀簿を手がかりに―
15:40~16:20 司会 大藤 修

・子どもの社会化―台湾漢族の場合―
16:20~17:00 司会 堀江 俊一
田中 久夫

◇懇親会(詳細は二ページに掲載)

第二日(二三日)午前一〇時開始

◇テーマ報告

・青年期における社会化―アメリカの高校生について― 10:00~10:40 金川 智恵
・近代ドイツにおける子どもの社会化
―街頭にさまよう子どもたち・家にとじこめられる子どもたち―
10:40~11:20 児玉 亮子
・幼児ネット・ワークの変容
―一九六〇年代と八〇年代―
11:20~12:00 落合恵美子
以上司会 正岡 寛司

◇昼食 12:00~13:00

◇総会 13:00~13:30

◇テーマ報告

・子どもの社会化に関する親の意識
―幼児期から学童期にかけて―
13:30~14:10 司会 安藤 明人
・シンポジウム「子どもの社会化」
(総合司会) 竹田 旦 (司会) 大藤 修・田中 久夫・正岡 寛司
14:10~17:00 (運営委員) 地主 喬・安藤 明人・白石 玲子・藤井 勝

子供の社会化—問題提起—

地主 喬

第一九回研究会では「親と子に関する研究の現状と課題」について、時間軸（主に古代史学・中世史学・近世史学・社会史学）と空間軸（主に社会学・家族法・文化人類学・民俗学）の二つの軸に整理された報告がなされました。この大会報告のあとを受けて親と子をめぐる問題として各学問分野に共通する課題として、今二十回大会では「子供の社会化」をとりあげました。

その趣旨は、子供が現代社会の中で日常生活を円滑に行うための社会化はどこでなされているのであろうか。家庭・学校・社会が考えられますが、学校での分野については、第一四回研究会で取上げられましたので、今大会は次の点に焦点をしばってみました。

- ◇家庭内では子供の発達段階に応じてどんな社会化がなされてきたのであろうか。
- ◇地域社会は子供に対して社会化の面でどんな役割をはたしてきたのであろうか。
- ◇世界の各地域では子供の社会化はどのようなにされているのであろうか。

以上のような点を中心にして十二人の先生にご協力をいただき、より身近な問題としていただきましたので、どうぞ大会に参加してよりよい成果があがるようにお願いいたします。

研究会に関連する連絡事項

1 武庫川女子大学第三学舎（甲子園会館）への交通機関

JR東海道本線甲子園口駅（大阪駅より神戸方面へ四つ目の駅）南口を下車。東へ約五〇メートル行き、右折。柳の生えた小さな川沿いに南へ徒歩七〜八分。（同封地図参照）

2 昼食の弁当について

会場周辺には食堂がありません。参加者は弁当を予約していただければと存じます。弁当は代金七〇〇〜八〇〇円ほどご予約を承っております。必要な方は、同封の出欠の葉書に〇印をお付けくださいますようお願い申し上げます。

3 懇親会について

時間 研究会初日（二一日）午後五時より
会場 甲子園会館 東の間
費用 四〇〇〇円程度

懇親会へ出席される方は、前記の葉書に〇印をお願いいたします。

なお懇親会の出欠の通知に変更がある場合には、できるだけ早く地主先生にご連絡くださいますようお願い申し上げます。

4 報告者の配付資料（レジュメ）について

研究会で報告される先生は、一月一日までに（必着）、配付資料一部を武庫川女子大学文学部地主喬研究室宛にお送りください。期日までにお送りいただけない場合には、

恐縮ながら各人数分のレジュメを御用意くださいますようお願い申し上げます。なお参加者の人数については、地主先生にお問い合わせください。

5 研究会についてのお問い合わせ先

地主 喬（〒六六三 西宮市池開町六一四六）
武庫川女子大学文学部
大学 ☎〇七九八一四七―二二二二
自宅 ☎

6 出欠の葉書について

研究会への出欠の御連絡は、同封の葉書にて一月二〇日までにお願いたします。

事務局からのお知らせ

1 会費の納入について

一九九一年度分までの会費未納の方には、振替用紙を同封いたしましたので、振込をよろしく願いたします。

年会費 三〇〇〇円

（封筒宛名の右下の数字が納入済年度を表しています。）

2 『比較家族史研究』について

現在第六号の刊行にむけて、鋭意編集作業が進められております。会員には明年始めに発送できる予定です（会費振込者は一部無料配付）。

なお、学会事務局には第三号以降の在庫があります。入手ご希望の方は、学会事務局宛その旨ご連絡ください（会員定価一三〇〇

円)。弘文堂には第一号以降の在庫がありま
すので、必要な方は一般書店を通じてご注文
ください。(通常定価)。

一〇周年記念事業について

1 事典・家族の刊行について

四月に実行委員の諸先生と弘文堂との打合
が行われ、次のような編集の基本方針が確認
されました。

(1) どのような事典を作るか

a. 体裁 B5判 一〇〇〇ページ

原稿枚数 本文四〇〇〇枚

五十首順の形式

項目は大・中・小の三段階を基

本とし、特大・特小も設ける

b. 部数・予価 八〇〇〇〜一〇〇〇〇部

二五〇〇〇円

c. 内容

① 比較家族史学会の特長を生かし、グ
ローバルかつ歴史的な視点に立って

「家族」に関する項目を幅広く載せる。

家族に関する諸学問の新しい展開、さ

らには女性学や人口学にも目配りする。

② 隣接学問領域、特に心理学(精神医

学含む)や家政学の成果を取り込む。

(2) 編集体制

① 学会で指名を受けた編集委員中から、
大竹会長の委嘱を受け、本企画の原案を
作成する実行委員を以下六名とする。

有地亨(実行委員長)・江守五夫・住
谷一彦・福田アジオ・村武精一(以上
実行委員)・森謙二(事務局)

② 実行委員は、弘文堂と協議を重ね、項目
・執筆者の選定につき、適宜他の編集委員
の意見を取り入れつつ、原案を完成する。

③ 実行委員は、(1)のcの内容につき、遺漏
無きを期するため必要に応じて編集スタ
ッフを補充し、それぞれの専門的見地か
ら意見を受けて、本事典の充実をはかる。

(3) スケジュール

① 項目の原案を提示―一九九一年内

② 執筆者の選定作業―一九九二年内

③ 執筆―一九九三年、④ 刊行―一九九四年

2 東京と大阪のシンポジウムについて

現在それぞれの実行委員の間で、大綱が固

まりつつあります。計画の詳細については、

後日連絡させていただきます。テーマは、東

京が「子供の権利―家族のなかの子供」、大

阪が「高齢化社会における親子」です(いづ

れも仮題)。

幹事会 議事録

日時 一九九一年六月三日

場所 東京大学

(1) 報告事項

1 『比較家族史研究』第六号の刊行進捗状

況の報告。

2 『シリーズ家族史』第一期の刊行進捗状

況の報告。

・六巻「離婚」原稿提出完了、刊行途中。

・七巻「女性と財産」「年報」へ転載検討。

3 同第Ⅱ期各巻の刊行進捗状況

・一巻「家父長制」校正中。

・二巻「墓地」原稿ほぼ完了。

・三巻「教育」原稿ほぼ完了。

・四巻「女性と縁組」七月原稿締切。

・シリーズの名称は第一期とは変更。たと

えば、『シリーズ比較家族』(仮称)等。

4 次回(二〇回)研究大会について

『会報』一ページ参照。

5 学術会議関連事項

(2) 審議事項

1 新入会員の承認

2 退会希望者の承認

3 会計報告

4 国際交流について

ドイツのミッテラウアー氏からの依頼。

一九九五年エクスポの際(於ウィーン)の

比較家族史関係の学会に、本学会より代表

を派遣してほしい旨。

5 十周年記念事業

① 事典の編集について

a 委員の追加 家政学・教育学関係の

委員として中野邦先生

b 編集の基本方針

『会報』三ページ参照

ただし編集事務局の補佐として、山

田昌弘・野村明代・山内健治氏

c 名称は『事典・家族』とする。

② シンポジウムの開催

大阪では、府民生局が協賛。

総会 議事録

日時 一九九一年六月四日

場所 東京大学

- 1 『比較家族史研究』第六号の刊行について
- 2 『シリーズ家族史』各巻の刊行について
- 3 次回(第二〇回)研究大会について
- 4 学術会議関連事項報告
- 5 新入会員の紹介
- 6 前年度会計報告と承認
- 7 十周年記念事業の基本方針
- 8 その他

新入会員

河野 元子 社会経済史

大学院

新森 良子 日本経済史

大学大学院

中西 裕二 文化人類学

福岡大学
前之園幸一郎 教育史

青山学院女子短期大学

松島 道夫 家族法

久留米

寺本 千里 女性史

神戸大学

鈴木 博人 家族法

藤井 勝 社会学

大学
崔 弘基 社会学

韓国ソウル大学校

住所変更(所属変更を含む)

坂田 聡 日本中世史

函館大学

松本 克美 民法

神奈

加納 啓良

九州大学

久留米大学

川大学短期大学部

近藤佳代子 日本法制史

化研究所

東京大学東洋文

退会者

南塚 信吾 千葉大学

門脇 禎二 京都府立大学

長谷川真理子 専修大学

橋爪 大三郎 東京工業大学

所属変更については、次号掲載とさせていただきます。

久留米

宮城教育大学
南方 暁 家族法

新潟大学